



ナシ(相馬市)

そうそう農林 NEWS NO. 18

令和8年9月 福島県相双農林事務所

— MENU —

- P.1 心機一転！木の香る相馬地方森林組合の新事務所が完成
- P.2 双葉地方森林組合通常総代会が開催されました
- P.3 大豆やネギ等の大規模経営の実証が行われています
- P.3 春ブロッコリーの一斉収穫試験を行いました
- P.4 「クレマチス育て方講座 🌸 ～四季咲きクレマチスを楽しむ～」 in 相馬 🐎
- P.4 飯舘村森林組合が伐採作業の安全を祈願！
- P.5 令和8年度若手職員研修を実施しました！
- P.6 県産花きを使った花育活動を実施しました！
- P.7 「生きもの調査」を実施しました！
- P.7 令和8年度「畑の学校」第2回ジャガイモの収穫体験を実施しました！
- P.8 令和8年度第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました！
- P.9 相双地方土地利用型野菜推進セミナー(ブロッコリー・ネギ篇)を開催しました
- P.10 福島県農林水産業振興計画相双地方意見交換会を開催しました！
- P.10 双葉町、大熊町専任職員の活動を紹介します
- P.11 お知らせ
- P.12 特集

心機一転！

木の香る相馬地方森林組合の新事務所が完成

相馬地方森林組合の新事務所が南相馬市鹿島区の製材工場敷地に完成しました。

これまでは、鹿島区で加工部の業務を、原町区で総務部門の業務を行ってきましたが、今回、組合の各部門が新事務所に集約されたことで、組合員の利便性向上とサービスの充実、業務の効率化が図られることになりました。

新事務所は、県産材を使用した延べ床面積約534平方メートルの木造平屋で、エントランスの樹状トラスや大断面集成材によるラーメン構造(柱と梁を強固に接合して建物を支える構造)を採用するなど、木の魅力と機能性を併せ持った施設となっています。

令和8年6月30日（火）には、門馬南相馬市長をはじめとする多くの来賓を迎え、落成式が盛大に執り行われました。

第3期復興・創生期間がスタートし、被災地の森林整備がクローズアップされる中、地域林業の中核を担う森林組合の新たな拠点が完成したことにより、相馬地方の森林再生が大きく前進するものと期待しています。



落成式で挨拶する多田代表理事組合長



新たな相馬地方森林組合事務所

森林林業部

双葉地方森林組合通常総代会が開催されました



双葉地方森林組合 松永組合長あいさつ

令和8年5月29日（金）、富岡町の双葉地方森林組合事務所において、第32回通常総代会が開催されました。

当日は、国、県、町村などの関係機関をはじめ、総代及び役員など約90名が出席し、松永組合長からは、東京電力福島第一原子力発電所事故により大きな影響を受けた双葉地方の森林整備にしっかりと取り組んでいく意欲が示されました。

双葉地方森林組合は、令和2年11月に富岡町での業務を再開し、令和6年4月には川内事業所の業務も再開しました。また、昨年度には新たに1名の職員を雇用するなど、相双地方の森林整備の中核として、森林林業・木材産業の復旧・復興に向けた、更なる活躍が期待されています。

当所においては、森林整備と放射性物質対策を一体的に実施する「ふくしま森林再生事業」の推進などを通じて、豊かな森林を維持し、次世代に引き継ぐことができるよう取り組んでまいります。



富岡林業指導所 松本所長あいさつ

富岡林業指導所

大豆やネギ等の大規模経営の実証が行われています

令和8年度より、JA 福島中央会が主体となり、県内の麦類・大豆やネギなどの土地利用型の農作物の生産性向上及び大規模経営体の育成を目的とした、「チャレンジファーム事業」が開始されました。本事業では、新たな栽培技術や農業機械の有効性を検証するため、南相馬市小高区及び大熊町で現地実証が行われています。相双農林事務所では、播種、定植作業や生育調査、生産者への栽培指導などを支援しています。

令和8年6月1日（月）、2日（火）に、南相馬市小高区のは場で、大豆の播種及びネギの定植が行われました。

大豆では、播種前の耕起・碎土・整地をまとめて行う新型の耕うん機や、^{うね}畝を高速で成形しながら播種を行う播種機による実演が行われました。播種直後に台風6号が接近し、日100mmほどの降雨に見舞われたものの、無事出芽し、現在も順調に成長しています。

ネギでは、トラクターけん引式定植機を用いた定植作業が行われました。作業効率の向上及び作業負担の大幅な軽減が見込まれており、大規模経営における有効性を検証しています。ネギの生育も順調で、10月頃から収穫が予定されています。

畑作物・土地利用型野菜の導入や、農業経営の大規模化に関心のある方は、農業振興普及部地域農業推進課（0244-26-1150）までご相談ください。



大豆の播種作業



生育中の大豆



ネギの定植作業

農業振興普及部

春ブロッコリーの一斉収穫試験を行いました



一斉収穫機による収穫作業を見学する様子

現在、相馬地域では、ブロッコリーの産地づくりが進められています。近年は、気候変動の影響により秋冬ブロッコリーでは夏場の定植作業、春ブロッコリーでは5～6月頃の収穫作業の負担が大きくなっており、省力化技術の導入が求められています。

そこで今年度、スマート農業先導モデル構築事業を活用し、南相馬市原町区のは場で春ブロッコリーの一斉収穫機の導入による収穫作業時間の低減効果や、秋冬ブロッコリーの直播（種を直接は場にまく）栽培の適応性について検証する試験を行っています。

令和8年6月5日（金）に「春ブロッコリー一斉収穫機現地検討会」を開催し、南相馬市原町区の生産者ほ場で春ブロッコリーの一斉収穫機による収穫作業を行いました。当日はブロッコリー生産者をはじめ

関係機関担当者など計13名が参加し、一斉収穫機による収穫作業を体験・見学しながら、導入に向けた課題について意見交換を行いました。

当日は、一斉収穫機による収穫作業の速さを体感することができました。一方で、今後は収穫機の刈り取りに適した品種を選定していく必要があるなど、検討すべき課題も明らかとなりました。

土地利用型野菜の栽培や省力化技術に関心のある方は、農業振興普及部経営支援課（0244-26-1151）へご相談ください。

農業振興普及部

「クレマチス育て方講座🌸～四季咲きクレマチスを楽しむ～」in 相馬🐎



高玉氏による講演



クレマチス「エールフクシマ」

令和8年6月7日(日)、相馬市の尾浜こども公園で相双地方フラワーネットワークの活動の一環として、「クレマチス育て方講座」を開催しました。本講座は「ふくしま花を愛でるライフスタイル」の普及を目的として実施し、当日は36名の方に参加していただきました。

講座では、長年クレマチスを栽培し、オリジナルのクレマチス品種「エールフクシマ」を育成した相馬市陽光園の高玉恵治さんを講師にお招きしました。高玉さんからは、エールフクシマの特徴である四季咲きを楽しむ土づくりや枝のせん定・誘引方法などを説明していただきました。参加者の方々からは、「配布されたクレマチスの苗を自分の家でも上手に育てたい」といった声が聞かれ、地元の花の魅力を身近に感じていただく機会となりました。

尾浜こども公園の花壇は、地域の方々の植栽活動で管理されており、エールフクシマをはじめとして県内有数の品種が揃っており、色とりどりのクレマチスを楽しむことができます。特に、5月下旬～6月中旬が見頃となりますので、ぜひ足を運んでみてください。

農業振興普及部

飯舘村森林組合が伐採作業の安全を祈願！

令和8年6月18日(木)、飯舘村森林組合が村制施行70周年記念行事として「伐採祭並びに安全祈願祭」を開催しました。

森林組合では、これまで飯舘村が発注する「ふくしま森林再生事業」の森林整備等を受託しているほか、令和6年度から村内で稼働している「飯舘みらい発電所」に、バイオマス燃料として伐採した木材を供給しています。今回の神事は、今後も安全に現場作業が遂行できるよう、また、飯舘村がいつまでも「山美わしく、水清らかなふるさと」であり続けるよう、関係者一同が祈願するため執り行われました。

式典では宮司による祝詞奏上や模擬伐倒、玉串奉奠(たまぐしほうてん)などが行われました。その後、佐藤代表理事組合長の挨拶と杉岡飯舘村長の祝辞をもって一連の式典が終了し、組合作業員をはじめ関係者が改めて作業の安全を認識する機会となりました。

当事務所においても、林業労働安全のための巡回指導や講習会を通じて、労働災害ゼロに向けた取組を進めてまいります。



安全祈願の神事



模擬伐倒セレモニー

森林林業部

令和8年度若手職員研修を実施しました！



小高園芸団地で生産者の話を
聞く様子

令和8年6月30日(火)、管内における農林業の現状を知り、相双地方の復興に向けた業務を円滑に遂行することを目的として、相双農林事務所の若手職員研修を実施しました。

研修は、復興に関する事業を実施した現地で行い、小高園芸団地(南相馬市)、ほ場整備事業実施地区(南相馬市)、FLAM(浪江町)(※)、海岸防災林造成事業実施地区(浪江町)、サツマイモ生産農家(檜葉町)を訪問しました。各訪問先では、当所担当職員や生産者の方々から、事業概要や今後の課題等、相双地方の農林業の現状について説明を受けました。

小高園芸団地では、環境制御技術や栽培データの活用による、きゅうりの安定生産の取組を学びました。FLAMでは、木材が加工され製品となるまでの流れを実際に見学することで、林業と木材産業のつながりを理解することができました。檜葉町のサツマイモ生産農家では、栽培方法や経営上の工夫について説明を受けました。また、芋スイーツや地域の飲食事業者との連携によるブランド化や販路拡大に向けた取組についても話を伺い、生産だけでなく販売まで見据えた経営の重要性を学ぶことができました。

参加した職員からは「相双地方の生産者の方々の仕事への誇りを感じることができた。県職員としてそういった方々の力になりたいと思った。」「足を運ぶ機会が少ない実際の現場を見学すること



FLAMにて工場の説明を受ける様子

ができ、良い経験となった。」「他部の取組を知ることができ
る貴重な機会となった。」といった感想が寄せられ、職員
ひとりひとりが復興業務について理解を深める有意義な研
修となりました。

今回の研修では、若手職員が普段の業務では見えにくい
農業・林業の現場の実情を直接知ることができました。ま
た、自分たちが携わる事業や施策が現場の生産活動や地域
産業を支えていることを実感するとともに、今後も現場の
視点を意識しながら業務に取り組むことの大切さを学びま
した。研修を通じて得た知見や学びを、今後の業務にしっ
かりと活かし、相双地方の復興と本県農林業の発展に貢献

できるよう、取り組んでまいります。

(※) 福島県高度集成材製造センターの略称

総務部

県産花きを使った花育活動を実施しました！

令和8年7月7日(火)、大熊町立学び舎ゆめの森の児童5、6年生を対象に、県産花きを活用したフラワーアレンジメント体験による花育活動を実施しました。

この活動は、児童が自分たちの住む地域で生産されている花きへの理解を深めるとともに、愛着を育むことを目的として実施したものです。

当日は、東日本大震災以前に大熊町内で生花店を経営されていた蜂須賀氏を講師に迎え、浪江町産のトルコギキョウを使用したフラワーアレンジメントに取り組みました。

トルコギキョウに初めて触れる児童が多かったものの、講師の説明を熱心に聞き、花や緑に触れることで得られる安らぎや美しさを感じながら思い思いに花を生けていました。

児童からは、「とても楽しかった」、「花に興味を持った」など喜びの声が寄せられました。

今回の活動を通じて、児童たちが地元で生産された花きへの理解を深め、親しみを持つきっかけとなりました。



フラワーアレンジメント作成中の様子



完成したアレンジメントと集合写真

双葉農業普及所

「生きもの調査」を実施しました！

令和8年7月7日（火）、南相馬市立石神第二小学校の5年生児童が小学校近隣の水路で生きもの調査を行いました。

当所では、子どもたちに豊かな感性や農業・農村への関心を持ってもらうとともに、農業・農村地域の大切さ、自然環境の大切さ、農地・土地改良施設の役割について理解を深めてもらうことを目的に『「生きもの調査」事業』を実施しています。

児童たちは、調査地点に到着すると網とバケツを持って川に入り、生きものを探し始めました。網で草むらの根っこをつつくと、隠れていた小魚やドジョウ、ヤゴなどが飛び出し、網ですくった生きものを次々とバケツに入れ、捕まえた生きものをアクアマリンふくしまの先生と一緒に観察し、「これは何の生きものだろう」とお互いに話し合ったり、先生に尋ねたりするなど、意欲的に調査に取り組んでいました。

今回の調査では約1時間の間に19種類の生きものを捕獲し、観察後全ての生きものを水路に戻して調査を終了しました。



生きもの調査の様子



生きもの観察の様子

児童たちからは、「水路にどんな生きものが棲んでいるのか知ることができ楽しかった」、「身近にこんなにたくさんの種類の生きものがいるのかと驚いた」といった声が挙がり、生きもの調査を通して身近な自然環境の生態系の豊かさを実感することができた様子でした。

今後も「生きもの調査」事業を通じ、子どもたちの農業・農村が持つ役割について、理解の醸成に努めていきます。

農村整備部

令和8年度「畑の学校」 第2回ジャガイモの収穫体験を実施しました！

令和8年7月9日（木）、『「畑の学校」実践モデル事業』の今年度第2回活動として、南相馬市立石神第二小学校の6年生児童がジャガイモを収穫しました。

この事業は、子どもたちに豊かな感性や農業・農村への関心を持ってもらうとともに、「食・命の大切さ」・「農業・農村地域の大切さ」・「自然環境の大切さ」について理解を深めてもらうことを目的として実施しています。

児童たちは、地元講師からの収穫方法について説明を受けたり、農業普及員によるジャガイモに関するクイズ大会に参加しながら、豊作への期待に胸を膨らませていました。

当日は日差しも強く、暑い中での収穫体験となりましたが、自分たちが植えたジャガイモを地中から掘り出すたびに歓声が上がり、収穫したジャガイモの数を競い合いながら、和気あいあいとした雰囲気の中で収穫が進められました。

収穫体験終了後、児童たちからは「こんなにたくさん収穫できるとは思わなかった」「ジャガイモを掘るのは初めてで楽しかった」などの声が聞かれ、収穫体験を通して農業の楽しさに触れることができた様子でした。

「畑の学校」事業では、今後ブロッコリーの定植・収穫活動等を行う予定です。



収穫の様子



収穫後の児童

農村整備部

令和8年度第1回

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました！



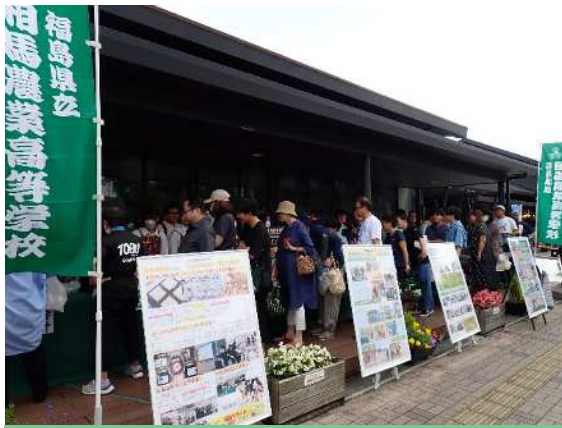
キャンペーンの様子

令和8年7月18日(土)、南相馬市鹿島区の「セデッテかしま」において、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

当日は、梅雨の合間の曇り空となり、多くの方にご来場いただきました。今回は、福島県産農産物やGAP（農業生産工程管理）の認知度向上と理解促進をテーマとして、福島県産農産物の購入意欲やGAPに関する意識調査を行いました。調査にご協力いただいた方には、GAP認証農場ひばり菜園の「小ネギ・ミニトマト」と「#青春GAP米」のセットをプレゼントしました。

また隣接して、県立相馬農業高等学校の生徒が栽培したトウモロコシやナス、タマネギなどの農産物のほか、スイーツやパン、ジュース、ジャムなどの加工品の販売会が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

意識調査では、福島県産農産物に対する好意的な意見や、「おいしさ」や「鮮度」などの魅力を評価する声が数多く寄せられました。また、「GAPについて知るきっかけになった」との意見もいただき、福島県産農産物に対する関心の高さとGAPへの理解促進につながる機会となりました。



県立相馬農業高等学校販売会の様子

今後も、皆様からいただいた貴重な御意見を踏まえ、地産地消の推進と福島県産農産物の PR に取り組んでまいります。本イベントに関する詳しい内容については、当所企画部ホームページをご覧ください。



企画部 HP

企画部

相双地方土地利用型野菜推進セミナー (ブロッコリー・ネギ篇) を開催しました



相双地方土地利用型野菜推進セミナーの様子

令和8年7月28日(火)、南相馬市のかしま交流センターで、ブロッコリーやネギの安定生産技術や病害虫対策などに関するセミナーを開催しました。

相双地方では土地利用型野菜「ブロッコリー」「ネギ」「タマネギ」等の産地形成をめざし、担い手の確保やスマート農業技術・機械化体系の確立などに取り組んでいますが、近年の気象変動や病害虫の発生などにより、収量・品質が安定しておらず、市場の期待に応えられない状況が生じています。

当日は、生産者をはじめ JA グループ

やメーカー、市町村など約100名が参加しました。

- 農研機構野菜花き研究部門の杉浦妃奈子氏から、ブロッコリーの生産技術として「高温対策」「各作型に適した品種と特性」「青果用と加工業務用途別の栽培方法の違い」「機械収穫で重要となるポイント」
- 秋田県農業試験場の蛭川泰成氏から、ネギの病害虫対策として「葉枯病及びネギハモグリバエBタイプに対する効果的な防除方法」「ドローン防除体系」
- 船橋農園株式会社(茨城県結城市)の船橋英統氏から、自社が実践する「健苗育成」「初期除草」のポイント
- 福島中央青果卸売株式会社の菅野誠氏から、各品目の市場動向やニーズなどについてご紹介いただきました。

会場からは病害虫や高温対策、市場ニーズなどへの質問が相次ぎ、関心の高さがうかがえました。

土地利用型野菜の栽培に関心のある方は、農業振興普及部経営支援課(0244-26-1151)へご相談ください。

農業振興普及部

福島県農林水産業振興計画相双地方意見交換会を開催しました！



意見交換の様子

令和8年7月29日（水）、相双地方の農林業者及び関係団体の代表者6名に出席いただき、県農林水産業振興計画相双地方意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、農林業の現場が抱える課題等を把握し、翌年度以降の県の施策に反映するとともに、各種事業の参考とするために開催しているものです。

意見交換会では、県から福島県農林水産業振興計画の概要や相双地方における特徴的な取組について説明した後、出席者から大規模酪農施設との耕畜連携や農林業の担い手の確保・育成など、相双地方が抱えている様々な課題に関して意見をいただきました。

相双地方のスローガン「相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して～地域に寄り添った復興の推進～」に掲げるとおり、引き続き地域の実情に応じた支援を行ってまいります。

企画部

双葉町、大熊町専任職員の活動を紹介します



双葉町における水稻実証栽培の田植えの様子

双葉町では現在、ブロッコリーやキャベツ等の野菜類の作付けが広がりつつあり、大熊町では、水稻や大豆、麦類、飼料作物のほか、タマネギやキウイ等幅広い品目が栽培されています。

両町は、除染に伴う地力低下が著しいことや、避難指示が解除されたばかりのエリアが多いことなどから、営農再開の動きが始まったばかりです。このため、今年度から両町を専任に担当する普及指導員が中心となり、地力回復に向けた支援を行っています。

主な取組として、堆肥の調達支援や土壌の状態にあった緑肥の提案を行っています。また、再開したばかりの生産者に対しては、震災前と異なる条件下での栽培支援を通じて、生産性の向上に取り組んでいます。

さらに、水稻の出荷制限解除に向けた試験栽培のための準備・運営を支援しています。今年度は試験栽培の最終年度に当たり、来年度には双葉町で震災後初めて主食用米が出荷可能となる見込みです。

両町では今後、さらなる営農の再開が期待されることから、一人ひとりに寄り添った支援を行ってまいります。

双葉農業普及所

お知らせ

●農林水産部公式 YouTube チャンネルについて●

県農林水産部では、特色ある「福島ならではの」の農林水産物や取組等について情報を発信しています。その一環として、「福島県農林水産部公式 YouTube チャンネル」を開設し、「1400 のネタばらし」と題して、農林水産部職員が企画・制作した動画を投稿しています。二次元コードを読み取ってぜひご覧ください。



【発見】林業・木材産業をのぞいてみた

令和7年度に開催した林業・木材産業現場見学会の様子をダイジェストで紹介しています



相双地方の大規模法人のブロッコリー～収穫編～
有限会社 I Love ファームおだか様（南相馬市）のブロッコリーを収穫し、調製する様子を紹介しています。



【山菜教室】森人に学ぶ、山の幸のネタばらし

相馬市で山菜やきのこを栽培している工藤さんが育てる、珍しい山菜を紹介しています。（ショート動画）



復興の明かりをともし 飯館の花

震災後に飯館村で花の生産を開始した新規就農者と、飯館村の花を使用したキャンドルを作成する移住者を紹介しています。



●表紙の写真について●

今回の表紙には、旬を迎えた相馬市の梨（豊水）を掲載しました。残暑の中にも秋の気配が感じられるこの時期、相双地域では梨の収穫が最盛期を迎えます。太陽の光をたっぷり浴びて育った梨は、爽やかな甘さと豊かな果汁が魅力です。旬を迎えた相双の梨を、ぜひご賞味ください。



福島県相双農林事務所

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地

Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181

E-mail : kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260a/>



特集

▶ 魅力あふれる！“そうそう”のとおき

相双地方産の農林水産物を使用した加工品（6次化商品）をご紹介します🌟

6次化事業者インタビュー

野馬追の馬が育む

サムライガーリック

株式会社ランドビルドファーム 吉田さやかさん

双葉郡浪江町で「相馬野馬追」に参加している馬の堆肥を使って、ニンニクの栽培に取り組む吉田さやかさんにお話を伺いました。

—— 浪江町でニンニクの栽培をはじめたきっかけを教えてください。

先祖代々受け継いできた農地と浪江町の実風景を守りたいという思いからです。私たちの家は代々相馬野馬追に参加しており、馬は身近な存在でした。馬の堆肥を活用した土づくりとともにニンニク栽培に取り組んでいます。また、相馬野馬追のある浪江町では、「勝負に勝つ」にちなんでニンニクを添えたカツオを食べる食文化があり、「サムライガーリック」を通じてその魅力も発信しています。



—— ニンニクを使った加工品や6次化商品を教えてください。

黒ニンニクや、黒ニンニクを使用した「サムライガーリックエナジーコーラ」のほか、「サムライガーリックパウダー」「サムライガーリック七味」を製造しています。

—— 黒ニンニクについて教えてください。

精密な温度管理により、ポリフェノールを豊富に含むよう製造しています。ビターチョコのような甘さがあり、風味の良い味わいになっています。

—— サムライガーリックエナジーコーラについて教えてください。

「サムライガーリックエナジーコーラ」とうたっている以上、パンチのある辛口な味わいのコーラに仕上がっています。

▲サムライガーリックエナジーコーラ

—— どのような時にサムライガーリックエナジーコーラを飲まれますか。

風邪をひきそうな時に飲むと、胸のあたりがポカポカしてカッと熱くなるような味わいです。ここぞという場面で気合を入れたい時によく飲んでます。

—— ガーリックパウダーについて教えてください。

料理にコクが欲しい時に気軽に使える商品です。例えば、子ども用のカレーを作った後にガーリックパウダーをかけると、子ども用カレーが大人用カレーに変身してしまうくらいコクが増します。

野馬追の伝統や浪江の豊かな風土が育んだ「サムライガーリック」
吉田さんのこだわりと地域への思いが詰まった味を、ぜひ一度ご賞味ください。



▲サムライガーリック七味(左)
サムライガーリックパウダー(右)



株式会社ランドビルドファーム

福島県双葉郡浪江町大字室原字北町尻3番地

＊お問合せ：0240 - 35 - 5227

＊販売場所：道の駅なみえ、オンライン他

＊オンラインストア：<https://shop.odaka01.com/>

LANDBUILD_FARM

吉田さんのインタビューは、福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」で公開予定！

「1400のネタばらし」はこちらから↓
<https://www.youtube.com/channel/UCqP88JOqCub5659DrEfz2sw>